

亀山警察署協議会議事録

令和7年度第3回亀山警察署協議会	
日 時 場 所	令和7年12月16日（火）午前9時30分～午前11時 亀山警察署3階会議室
出席者	<p>1 警察署協議会委員 5名 酒井健委員、伊達エリンダ幸江委員、中川崇沖委員、服部亜樹委員、村原菜見子委員</p> <p>2 警察署 9名 署長、副署長、会計課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長、交通課長、警務係長、警備係長</p>
傍聴者数	なし
公開・非公開の別	公開
議 事 概 要	
<p>1 前回協議会での要望等に対する回答 <委員> 亀山署管内の交通事故発生件数と交通量の関係についてのデータがあれば情報発信してほしい。 【交通課長】 正確な交通事故発生率を算出するためには、交通事故多発箇所の交通量の調査が必要となる。現時点では、調査を実施できておらず、交通事故発生率と交通量を表すデータはないが、いただいたご意見を今後の交通事故分析の参考とし、情報発信できるように検討していく。</p> <p>2 管内概況説明（警察署長） (1) 刑法犯認知及び検挙件数 (2) 特殊詐欺等認知状況 (3) 少年犯罪検挙状況 (4) 交通事故発生状況</p> <p>3 各種啓発活動等警察署協議会委員による視察状況の紹介 (1) 総合防災訓練の視察について <委員> 隣接する亀山消防署との合同訓練を実施し、災害発生時に連携できる体制ができているため心強い。警察職員が、各種訓練を経験しておくことは大切なことであり、今後もこのような訓練を続けてほしい。</p> <p>(2) 交番見学及び巡回連絡活動の視察について <委員> デジタル化が進む中、タブレット端末ではなく、警察官が巡回連絡カードを持ち、一軒ずつ民家や店舗を巡回している。大変な活動だと思うが、カードを記載しながら確認することで地域住民と警察官とのコミュニケーションにつながっていると感じた。また、外国人や独居高齢者の増加が課題となると思うが、引き続き、通訳官の帯同や工夫を凝らした声掛けを行ってほしい。</p> <p>(3) 年末の交通安全県民運動出発式への参加について <委員> 参加している団体の中には高齢者が多く、一時間に及ぶ出発</p>	

式が負担になるのではないかと少し心配になったが、地域住民との連携した取組により、交通事故をなくするという意識を高めることができた。

(4) 外国人講習会の視察について

＜委員＞ 技能実習に来た外国人には、日本のルールを守り、犯罪に巻き込まれることなく生活してほしいため、今後も、やさしい日本語や通訳官による通訳、各言語に翻訳されたチラシの配布等を通じ、警察による講習を実施してほしい。

(5) 交通安全啓発活動の視察について

＜委員＞ 動体視力の体験を通じて、交通安全啓発活動を実施することで、安全運転に対する意識がとても高まった。今回は高齢者対象であったが、今後、若者に向けても同じような広報啓発活動を是非実施してほしい。

4 協議（質疑応答）

(1) 交通安全啓発活動について

＜委員＞ 若者は、広報紙を読もうとしないため、亀山市内で開催する広報啓発活動をSNSで情報発信してはどうか。

【交通課長】 三重県警察のX（エックス）やホームページを通じ、積極的に各種広報啓発活動の情報発信に努めていく。

(2) 警察職員の対応について

＜委員＞ 亀山署ではないが、少し配慮に欠ける警察職員がいたことがあったので、亀山署では、住民の気持ちを考えた対応をしてほしい。

【署長】 亀山署では、誰のために仕事をしているのか、まず考えるよう指導しているが、引き続き、亀山市民のために活動するように指導していく。

備 考	
-----	--